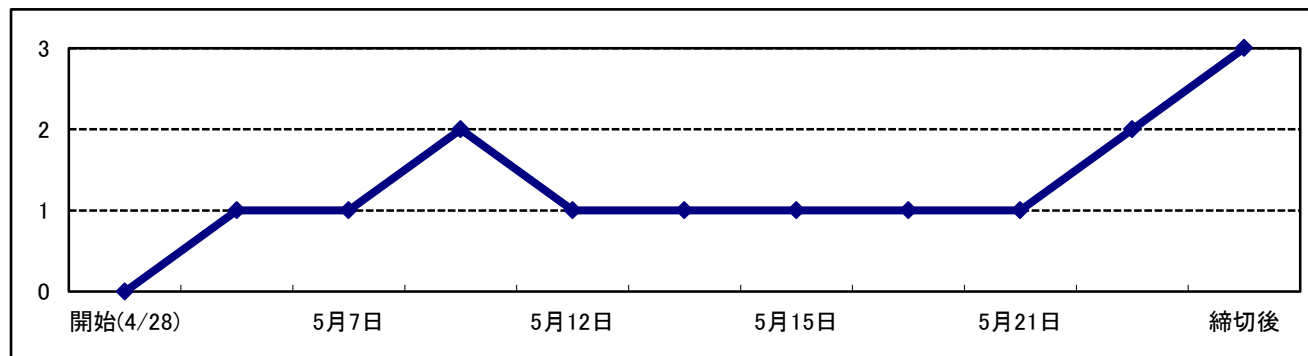


長崎市議会議員への「市民活動及び市民協働」に関する質問とご回答

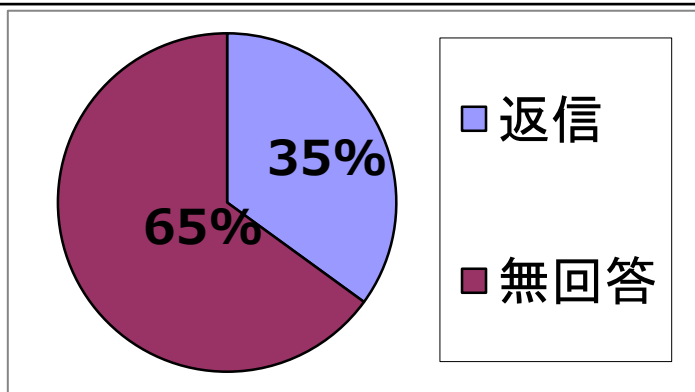
■アンケート期間

2015.04.28～2015.22

■返信状況



- ・ 配布数：40 名
- ・ 返信数：14 名
- ・ 返信率：35%
- ・ 有効回投数：14 名



■回答された長崎市議会議員（順不同）

議員名（敬称略）	所属
向山 宗子 林 広文	公明党
梅原 和喜 中村 俊介	市民クラブ
幸 大助 橋本 剛	チーム2020
大石 史生 中西 敦信	日本共産党
平野 剛	明政クラブ：無所属
後藤 昭彦	明政クラブ
池田 章子	社会民主党
岩永 敏博	創生 自民
深堀 義昭	自由民主党
中村 照夫	無回答

1. 長崎市をどんな街にしたいですか？あなたのお考えをご記入ください。

みんなが住んでいい街と思えるような街にしたい。
長崎で生まれ育った事を誇りに思える街。
長崎市を離れている若者がUターン又はIターンでき幼児から高齢者迄3世代4世帯の方々が安心して生活できる街づくりを目指していきたい。
花のある街づくり。桜でまちおこし。NPOながさき千本桜理事長として長崎の街に1,800本の桜を植樹。浦上川遊歩道の緑地管理、清掃をしています。毎回100人規模の老人パワーが参加します。
市民にやさしく、もっと賑わう街にしたい。
おもてなし、多様性、共生の街。
健全者、障害者、子ども、高齢者が本当に良い街だと実感できる明るい犯罪の無い長崎市にしたいと思います。
長崎のまちは海外との交流を行う場所として人工的に設けられた都市なので、様々な人々の行き来があり、情報や文化が行き交うまちにしていきたいです。とりわけ、そういった中で市民がまちの「お客様」ではなくて自分から動くようなまちとなって欲しいと思っています。
観光都市の特性を活かしながらも、まずは住んでいる市民の皆さんの満足度向上を図り、将来に亘って安心して子どもを生み育てられる環境をつくり、また市民の声が行政に届きやすい文字通り官民一体、連携の取れる街にしたいと考えております。
若い人からご高齢の方々までずっと一緒に暮らせる街。ハコモノ(ex. MICE 施設)より生活・教育・子育て支援。いのち、くらし、平和が大切にされる街。
地域に住む子供からお年寄りまで誰もが安心して暮らせる為、大型開発よりも福祉や教育が充実した街にしたい。また戦後70年の節目の年に核兵器廃絶と戦争する国づくりSTOPの声を被爆地長崎からあげていきたい。
赤ちゃんから高齢者 ハンディのある人もそうでない人もみんなが安心して暮らせるまちにしたい。住民の声が政治に届くまちにみんなの力でつくっていきたい。
経済、交流を活性化させ、雇用を増やし、若者の地元定着、少子化対策のための子育て支援、ひいては人口減少に歯止めをかけたい。
長崎の持つ、歴史や文化など魅力をみがきながら多くの人交流し、活気ある街、又みんなが住みたいと思う街にしたいと思います。

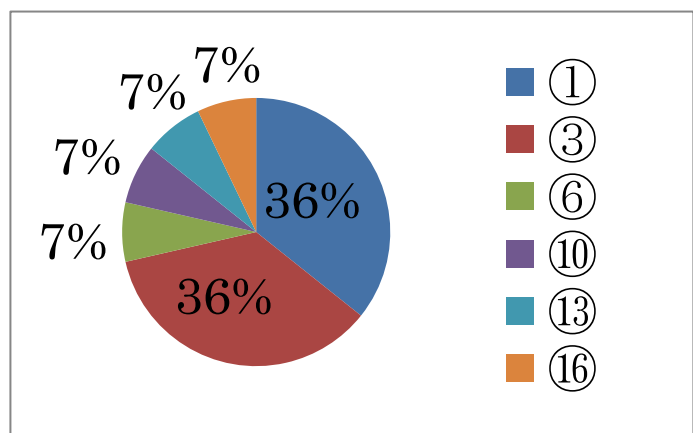
2. 市民活動のどの分野について関心がありますか？複数ある場合、最も関心がある

分野の番号1つと、それ以外に関心がある分野の番号(複数可)をご記入ください。

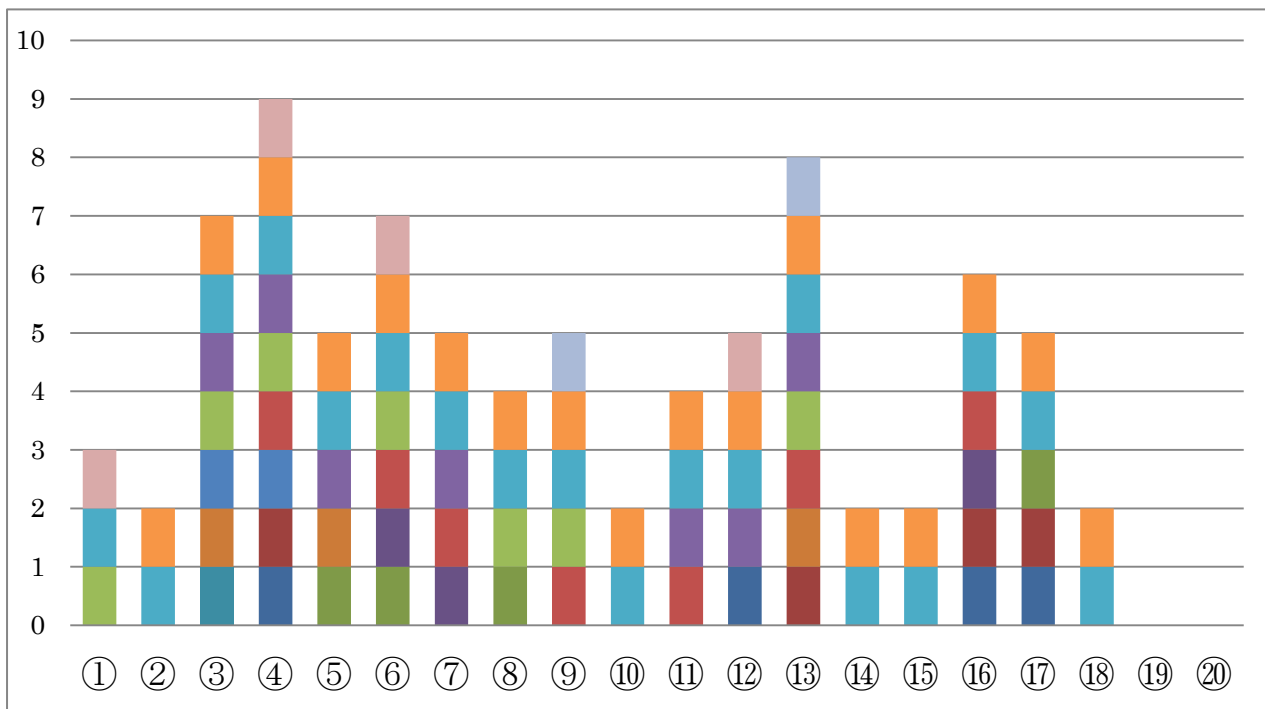
- ①保健、医療又は福祉 ②社会教育 ③まちづくり ④観光振興
 ⑤農山漁村又は中山間地域振興 ⑥学術、文化、芸術又はスポーツ振興
 ⑦環境保全 ⑧災害救援 ⑨地域安全 ⑩人権擁護・平和推進
 ⑪国際協力 ⑫男女共同参画社会の推進 ⑬子どもの健全育成
 ⑭情報化社会の発展 ⑮科学技術振興 ⑯経済活動の活性化
 ⑰職業能力開発・雇用機会の拡充支援 ⑱消費者保護
 ⑲前各号に掲げる活動を行う団体の運営・活動に関する連絡、助言又は援助の活動
 ⑳前各号に掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動

(1) 最も関心がある分野 (1つ)

①	36%
③	36%
⑥	7%
⑩	7%
⑬	7%
⑯	7%



(2) 上記以外に関心がある分野

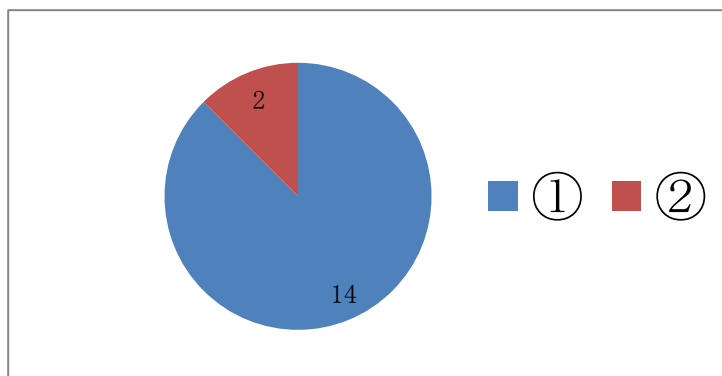


(3) その他

道路整備／小さな拠点づくり、若者支援（ひきこもり、ニート）

3. 市民活動はどのようなイメージですか？当てはまる番号に○を付けてください（複数可）。

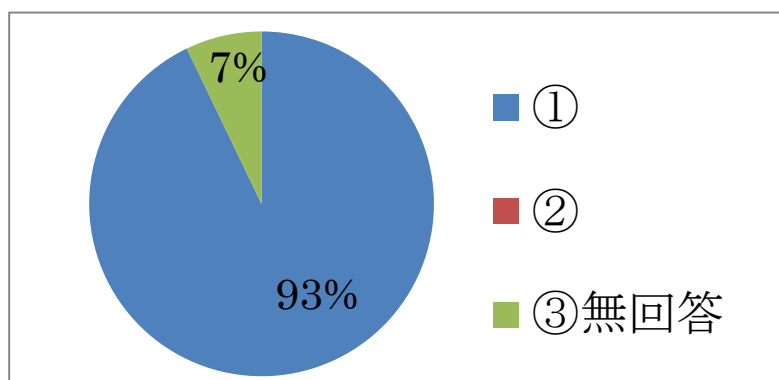
①地域のために頑張っている	14
②趣味（好き）でやっている	2
③市政に非協力的である	0
④イメージがわからない	0



⑤ その他
これからのまちづくりに欠かせない存在になると考えています。
知っている活動については①だが知らない活動についてはイメージがわからないものもある。
思想に則り活動する団体もある。

4. 協働について知っていますか？当てはまる番号に○を付けてください。

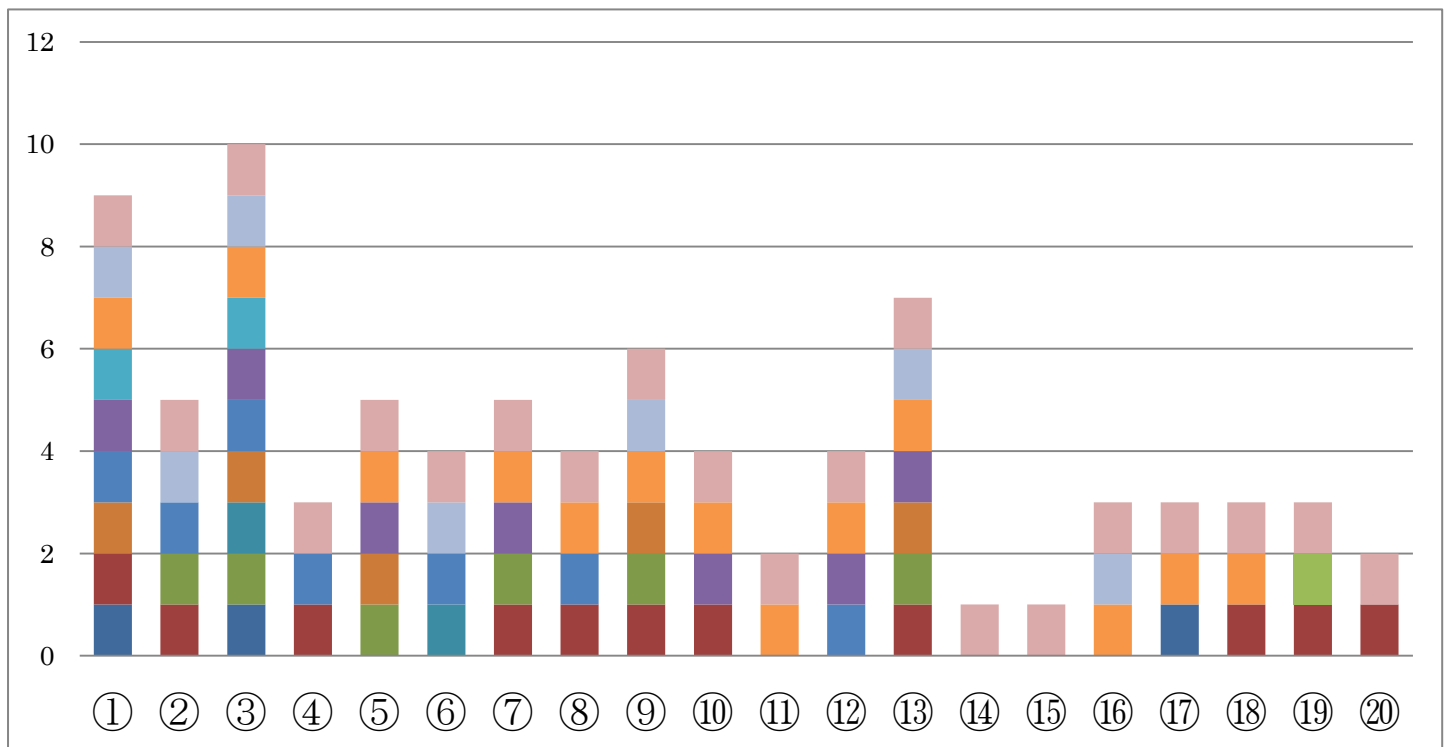
①知っている	93%
②知らない	0%
③無回答	7%



4-2. 課題解決のために協働が必要な課題はどんな課題だとお考えですか？

当てはまる番号に○を付けてください（複数回答可）。

- ①保健、医療又は福祉 ②社会教育 ③まちづくり ④観光振興
 ⑤農山漁村又は中山間地域振興 ⑥学術、文化、芸術又はスポーツ振興
 ⑦環境保全 ⑧災害救援 ⑨地域安全 ⑩人権擁護・平和推進
 ⑪国際協力 ⑫男女共同参画社会の推進 ⑬子どもの健全育成
 ⑭情報化社会の発展 ⑮科学技術振興 ⑯経済活動の活性化
 ⑰職業能力開発・雇用機会の拡充支援 ⑱消費者保護
 ⑲前各号に掲げる活動を行う団体の運営・活動に関する連絡、助言又は援助の活動
 ⑳前各号に掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動



特筆追加事項(各1名ずつ)

協働は行政と市民の協働だけではないと思っています。問題解決のためには市民が協力して対応しそれだけで対応しきれない部分を専門家集団である行政が担うべきと考えています。その意味するものが協働であるなら全分野で協働が必要と思います。

その他：若者支援（低所得世帯向けの中・高生学習支援）

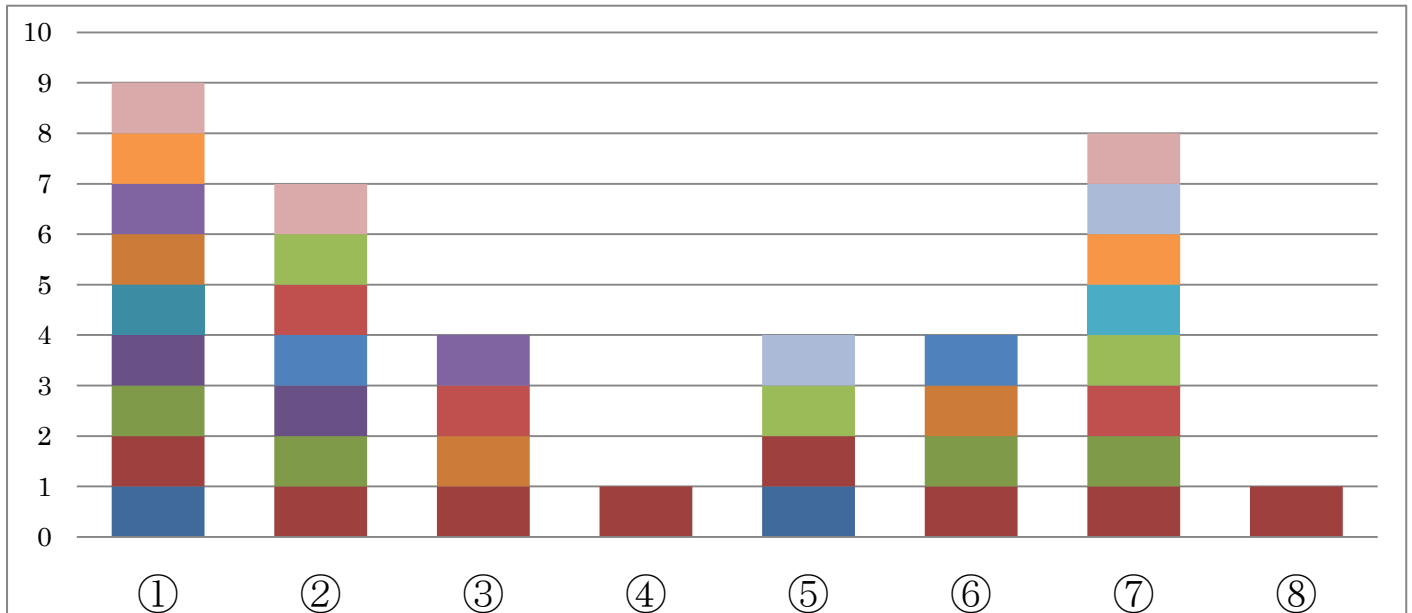
5. 市民活動の推進及び協働の推進について、あなたが市議会議員としてどんなことができるとお考えですか？

市民活動の皆様のお手伝い出来ることがあればしていきたい。
助成、周知、協力。
これからは行政主導ではなく、市民が声をあげ問題解決に取り組むべき。市議会議員として市民協働推進を支援又は先頭にたって取り組んでいきたい。
市民活動団体に加盟しています。
報告、連絡、相談が気軽にできるネットワーク作り。
市民活動、協働推進のために何が課題であるかを明確にし、議論する場を提供し、議会・行政を通して広く市民へ周知していくこと。又、自身が課題と思っていること及び推進したいと思っている事柄については協働の当事者として携わることもできると考えます。
日々の市民との対話活動で挙げた要望、改善すべき点については、時間を空けずに市の担当者に情報提供し、解決に向けて進んでいくこと。一般質問などで市へ呼び掛ける。
市民活動のプラットフォームづくりの提案。また、現行制度において市民活動が動きにくい部分のルール修正提案など。
まずは市内で活動している各種団体、活動内容の詳細などを私自身が知る必要があると考えます。その後は行政、団体間のパイプ役や活動の推進に協力することも可能であると思っております。
市民活動の課題を共有し、市政に反映させる。
市民活動と一緒に行動していく事。
市民活動で頑張っているみなさんと協力して取り組む。要望などを市政に届ける。
地域コミュニティの推進や市民協働を図る上で不可欠な①自助②共助③公助のうち②と③の推進をするべき。具体的には地域の拠点づくりや団体の横の連携。
情報の発信（伝達）、行政との連絡や調整役などでしょうか。

6. 市民活動及び協働推進について何が課題とお考えですか？当てはまる番号に

○を付けてください（複数可）

- ①活動する人材の確保 ②人材の育成 ③資金調達能力 ④団体管理の力
 ⑤団体の信用 ⑥情報発信力 ⑦行政のシステム ⑧条例の整備
 ⑨その他（ ）



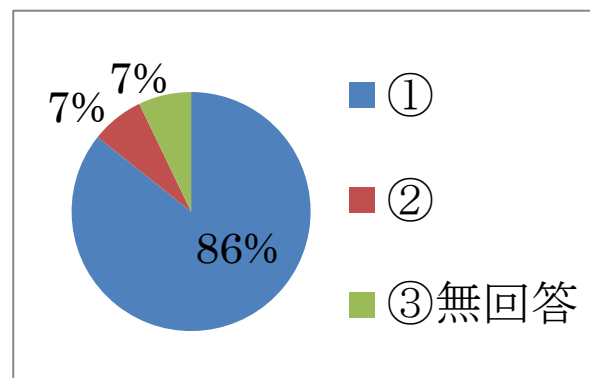
⑨その他

市民の協力

7. 今後、より良いまちづくりをめざして市民活動団体と市議会議員の意見交換会を開催しようと計画しておりますが、これに参加したいと思いますか。

当てはまるものに○を付けてください。

① 参加したいと思う	86%
② 参加したいと思わない	7%
③ 無回答	7%



その他

意見交換会以前に勉強会など現状が理解できる場を作って頂く必要があると思います。

8. あなたが市民として日ごろ生活する中で、課題と覚ることは何ですか？具体的に教えて下さい。

一人一人が自分の意見、考えを持っているのでそれをまとめるのは大変だと覚します。
市民と行政・政治の距離感。市民のまちづくりへの参加意識（まちづくりは市民の仕事・義務）。
空屋問題、現在使用していない公共施設の問題等。
人材不足。行政職員の無関心。
子ども、若者、低所得者世帯の貧困の連鎖。再チャレンジしやすい社会の創出。
議員活動を進めて行く中で、市民からの要望に対し、条例・予算の関係で満足 of いく回答が得られない時は非常に残念に覚る。6月議会で一般質問を行います。
かつて行政官として仕事をしてきた中で、行政がカバーできる分野は縮小していくと思い、これを埋めていくのがNPO（NPO法人に限らず各種の市民活動団体）、自治会、それと行政と市民をつなぐ行政書士であると考え、3つとも全てやってみて覚ることは行政から見えている世界と、そのすぐ外側から見えている世界の大きな差です。このことに起因する相互の誤解は相互に不信感を生み、協働をやりづらくさせていると覚します。
今後の長崎を担っていく我々の子ども達、孫達世代に負担を残さない、明るい将来をつくることに重きを置いた街づくりと人材育成。
市民活動に対する行政のサポートの弱さ
空家対策、老老介護、子どもの貧困など実感しています。
住民同志のつながり、コミュニケーションの希薄化、三世代交流をもっと積極的に推進できれば。
若者の雇用問題、子育て支援